

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 36 回 松阪市手話施策推進会議
2. 開 催 日 時	令和 3 年 10 月 13 日（水）18 時 30 分～20 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 5 階 大会議室
4. 出席者氏名	（委 員）深川誠子、松島茂人、牧戸淳、中里恵子、 石川圭一、若山幸則、越川元博 （事務局）西嶋秀喜、渋谷万里子、吉田茂雄、村田智美
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍 聴 者 数	0 名
7. 担 当	松阪市福祉事務所障がい福祉課 TFL 0598-53-4059 FAX 0598-26-9113 e-mail : shogai.div@city.matsusaka.mie.jp

○協議事項

- ・令和 3 年度「まちかどミニお手話べり会」進行表（案）について
- ・会場配置図案について
- ・令和 4 年度 手話施策推進事業予算 参考資料について

第 36 回 松阪市手話施策推進会議 議事録

日 時：令和 3 年 10 月 13 日（水）18 時 30 分～20 時 00 分

場 所：松阪市役所 5 階 大会議室

出席委員：深川誠子、松島茂人、牧戸淳、中里恵子、石川圭一、若山幸則、越川元博

欠席委員：栗田季佳、南美幸、亀田紀子、大辻結花

事務局：西嶋秀喜、渋谷万里子、吉田茂雄、村田智美

傍聴者：0 名

1. あいさつ 議長あいさつ

2. 報告事項

■2021 年度手話普及啓発ポスターの応募結果について

事務局 今年度の手話普及啓発ポスターの応募結果は、ホワイトボードに映しております表のとおりで、6 つの小学校から計 11 点の応募がありました。一昨年の応募数 126 点と比べて大変少ない応募数でした。本来ですと、応募作品の選考審査を行い、入選作品として各学年 4 点ずつ計 12 点を決める予定でしたが、応募数が満たなかったことと、また全ての作品がしっかりと描かれておりましたので、選考審査は行わずに、全ての作品を入選作品とすることに決定いたしました。なお、審査員を依頼しておりました小学校の先生方 2 名にはご了承をいただいております。

議長 ありがとうございます。ご質問等ありますでしょうか。

（質疑なし）

今年度応募数が非常に少なかったのは、コロナの影響なのかなと思いますが、もし来年度も募集した場合にどうなるかと心配はしております。以前のように、たくさんの応募があると非常に嬉しいなと思いますので、校長会であったり、事務局の方から募集についての呼びかけをぜひお願いしたいと思います。

事務局 議長が言われましたように、応募作品が増えるように、提案いただいた内容や、他の取り組みの検討を進めていきます。ご意見ありがとうございます。

3. 協議事項

■令和3年度「まちかどミニお手話べり会」進行表（案）について

事務局 （資料説明）

議長 11月20日まちかどミニお手話べり会で、表彰式を行うかどうかについて議論をしていきたいのですが、意見はありますか。

委員 11月20日については、私が司会をするようご指名をいただいていたのですが、担当することができなくなりました。表彰式を行わない方向にさせていただけると非常にありがたいなと思います。

委員 この時期はコロナにより先が見えないので、なかなか難しい面もあるかと思いますが、大事には大事をとって、表彰は学校の先生方にお任せして、今回この場所ですなくてもいいと思います。

委員 表彰式をやらない方向でいいかと思います。個人的には、時間の流れを見ると、表彰式の時間は30分間だけなので、あってもいいんじゃないかなとも思ったりもします。ですが、今コロナが沈静している状況で、表彰式をやる、やらないという判断をするのは非常に難しいなと思います。ですので、先ほどのお二人のご意見に従って表彰式はやらないという方向で差し支えないのではないかと思います。

議長 皆さん、やらない方向でよいのではないかというご意見でしたので、やらないということで決めさせていただいてよろしいでしょうか。ですので、資料1の右側のスケジュールで進めていきたいと思います。では、次に内容の詳細について事務局より説明をお願いします。

事務局 （資料説明）

資料1の表彰式を行わない場合のスケジュールをご覧ください。

まず、休日に大変申し訳ございませんが、委員さんにもイベント当日の運営と準備等のご協力をお願いしたいと思います。当日は、委員さんが10人、事務局も含めると20人弱程度のスタッフがいることとなりますので、委員さんには午前と午後の2つのグループに分かれていただき、お昼で交代していただきます。午前の方は、事務局は8時に現地集合しますが、委員さんは9時に現地集合していただき12時まで、12時に午後の方と交代し、午後の方は片付けを含め15時頃までお願いします。イベント中は、来場された方にアンケートの

記入をお願いし景品を渡したり、パネルが転倒しないように見張ったり、来場者の整理等をお願いしたいと思います。午前午後の割り振りは後日調整させていただき、集合場所や当日の分担について等も含めて、イベントまでに資料を送付させていただきたく予定です。現時点でご都合の悪い方は、後程事務局までおっしゃってください。

次に、内容についてです。コロナの感染状況によって、内容の縮小等を検討する必要があるかと思いますが、前回の推進会議で決定しましたスタンプラリー、パネル展示、手話動画を予定しています。パネル展示には、手話クイズ、手話ポスターの入選作品、手話サークル一覧等を展示する予定です。手話クイズにつきましては、深川副会長と相談し、昨年度のクイズ5問に新しく1問を追加し、計6問を展示する予定です。手話動画につきましては、前回の会議で、手話をつけて歌を歌うなどのご意見を出していただきましたが、コロナの感染防止の観点から、集まって練習や撮影をするのは危険だと思われる。そこで、深川副会長から、毎月広報に掲載しているミニ手話コーナーの動画をまとめて流すのはどうかとご提案していただきましたので、今年の1月から12月までの動画を広報広聴課の方でまとめて編集してもらおう予定です。また、昨年度作成しました、コミュニケーション方法と日常会話の動画も一緒に流そうと思います。

議長 ありがとうございます。コロナの状況によっては、内容を縮小するということがあります。パネル展示、手話クイズ、手話サークルの紹介、手話普及啓発ポスターの展示、そして今年1月から撮っている手話動画を流すといった内容で進めたいと思いますが、ご意見はありますか。

委員 たくさん内容がありますが、多くの方のご来場による三密を避けるという意味でも、パネル展示等で内容を縮小するという方向に進めていただけたらと思います。昨年に比べて会場を広く使っていただき、ディスタンスを保っていただくという配慮も必要なのではないかなと思います。

議長 去年は隣で迷路をやっていたので、狭かったですよね。今年はありませんので場所を広く使えます。

委員 いただいた資料の通りです承しております。

委員 資料の通りでいいと思います。

議長 ありがとうございました。

■令和3年度「まちかどミニお手話べり会」会場配置図案について

事務局 (資料説明)

議長 皆さんのご意見を伺いたいと思います。スタンプラリーですが、するかしないかどちらがいいと思いますか。

委員 事務局さんとしては、スタンプラリーをするかしないか、どう考えていますか。

事務局 事務局の考えとしましては、全委員さんと同じで、コロナの感染を極力回避したいという思いがありますので、スタンプラリー自体は皆さん楽しみにしていただいておりますが、今回は見送らせていただき、今までの会議の中で、来場者の方に手話を少しでも覚えていただきたいという意見があったので、少しでも手話に関われるスタンプラリー代替案のミニお手話べりコーナーの方で何とかできるのかなと考えております。

委員 事務局さんがスタンプラリー代替案で考えているのであれば、私は代替案でいいかなと思います。

議長 その意見は資料2②の考えですね。

委員 代替案でももちろんいいですし、私は去年景品を配っていて思ったのが、スタンプラリーをしない場合でも、皆さんが動画やクイズを見たり、そこに集まってお話したり、景品も皆さん意外と持っていかれたので、それ相応に集まって楽しんでいただけるのではないかと思います。コロナの状況に応じて、感染者が多くなった場合は、資料2③案でも十分いいかと思います。

議長 コロナの状況を踏まえて、2②案か2③案のどちらにするか決める場合、いくらいがいいでしょうか。

委員 ポスターやチラシでは、スタンプラリー代替案をやる、やらないなどの中身まではっきりと分からないと思いますので、内容はけっこう際まで柔軟に変えられると思います。事務局と相談する必要がありますが。

議長 コロナの感染状況に応じて、感染者が少ないのであれば、2②案でお手話べり

コーナーを設ける、難しいのであれば、2③案の展示と動画のみにするという
ことでよろしいでしょうか。

委員 基本的に代替案でいき、感染状況によって2③案でやっていくという考え方で
いいのかなあとと思います。子どもさんが来られても、12歳未満の方はワクチン
が打てないという状況もあるので、そのあたりも考えるとスタンプラリーをす
るのは難しいのかなと考えています。また、第5波の時は、お盆の時期から急
激に感染者が増えたので、時期をしっかりと見定めないといけないと思います。
第6波がいつ来るのか、どれぐらいの規模なのかは分かりませんが、なるべく
早めに察知して、感染者が増えてくるといった予兆があった段階で、2③案に
切り替えていくことも必要かなと思っています。

委員 そんな感じでいいと思います。質問ですが、手指消毒と検温は、資料を見ると
その場所に1つずつ置いていただくということでしょうか。

事務局 そうですね。今は1つずつというふうに考えていますが、ご意見がありましたら、
検討させていただきたいと思います。

委員 来場者が多くみえると、検温が1カ所で1人ずつというのはどうなのかなと思
うので、せめて2カ所あった方がいいような気がしますが、どうでしょうか。

事務局 手指消毒のポンプもなるべく2つ用意し、検温の方も2台準備できると思
うので、それぞれ2つずつという形で用意するよう変更したいと思います。

議長 参加者の規模がわかりませんが、多くの方がみえても安心できるように、数は
ちょっと余分に準備していただけるということでしたのでよろしくお願
いいたします。

委員 スタンプラリーについては中止でいいと思います。2②案でいき、感染状況に
応じて2③案にシフトするという方法でいいと思います。

委員 先ほど言われたように、感染状況に合わせて、2②案から2③案にすぐシフト
していく方法がいいかなと思います。検温や手指消毒についても、より多く
の方に対応できるように数を増やすというのも同じ意見です。イベントのチラシ
にも、新型コロナウイルス感染防止対策を考慮したミニ手話イベントを行うと
書いてあるので、対策をしっかりとった方がいいと思います。

議長 いろいろなご意見をありがとうございました。結果、コロナの感染状況によりますが、基本2②案で、感染が増えたら2③案にシフトするという方法でよろしいでしょうか。

(全員賛成)

議長 それでは2②案の配置図についてはこれでよろしいでしょうか。ご意見があればお願いします。

委員 資料の通りでいいと思います。

委員 いいと思います。エレベーターと階段から上がってくると、真正面に動画の画面があるということで、何をやっているかがよく分かると思います。

議長 昨年度の場合は、1階から上がったところから曲がったところに動画が設けられていたので、今年の配置はとてもいいと思います。

委員 この配置でいいのかなと思います。

委員 これでいいと思います。

委員 2②案のお手話ベリコーナーの場所で2対1(ろう者と、サークルの人等の聴者のペア対来場者)になっていて、その間にはアクリル板があって、横の机との間にはビニールシートがありますが、ペアになる2人についても、もっと離れた方がいいのではないかと思います。

委員 2②案については、松島委員と同じ意見です。

事務局 先ほど委員さんが言われました通り、資料のイラストでは、ろう者とサークルの人との間隔がくっついていきますので、その間についてもビニールシートや間隔を空けるなどして、対策するよう検討していきたいと思います。

議長 聴者がろう者とペアになって、聴者がろう者の隣にいる目的は、ろう者と来場者が手話でお話をする際に、会話が噛み合わなかったり、上手く伝わらなかった時にサポートすることだと思います。なので、マスクはしていると思うので、とても距離をとらなければならないということではないようにも思います。聴

者はマスクを着用することができるので、あまり神経質に考えなくていいような気がします。もし、ろう者の隣にいる聴者がサポートではなく、来場者を含めた三者が手話を使って会話をするというイメージであれば、ろう者と聴者の間に、仕切りのようなものか、距離をとることが必要だと思います。本来であれば我々としては、いろいろな人が交じり合っただけで会話ができるといいと思うんですが、コロナの関係もありますので、いろいろなことに気を使いながらやっていくということで、聴者はサポートに徹するというふうに考えればいいのかと思いました。委員さんからもご意見をいただければと思います。

委員 ある程度の間隔があればマスクもしているので、問題ないかと思います。

議長 聞こえない立場としては、マスクをされてしまうと困るところがあります。事務局にお尋ねしたいのですが、来場者に透明マスクを提供して使っていただく予定はありますか。

事務局 今は不織布マスクの着用が基本のような感じであり、来場されるご本人さんも不織布マスクを外すことに抵抗があるようにも考えられますので、来場者の方につきましては、ご自身が着けているマスクをそのまま着用した形で参加していただくように考えております。

議長 ご存知だとは思いますが、不織布マスクでは口元が見えないという不便さがあり、不織布マスクを着けたままでの手話は難しいかと思います。アクリル板があったとしても、不織布マスクでないといけないのでしょうか。

事務局 安全を最優先するように考えますと、アクリル板があるから感染が防げることが完全には言えないかと思いますが、不織布マスクの着用を考えています。

議長 それでは、2②案はやめて2③案にして、お手話ベリコーナーはなしという方向に進めるしかないのではないのでしょうか。不織布マスクを着けたままではとても口の動きなどは見えませんので、お手話ベリコーナーとは言えないのではないかなと思います。

事務局 今月 15 日から、三重県リバウンド阻止重点期間が解除になって、県の方でコロナ対策の指針バージョン 13 が新しく出ます。そちらでも新しい生活様式というのは、感染対策をしっかりとることについて、今までのものとほぼ変わっ

ていません。三密を避けマスクをするといったことなど。行政がやっていく事業としてはそのあたりが重荷ですが、なんとかそこをうまくやりながら、こういった手話のイベントもうまくやっていき、ちょっとでも手話を楽しんでいただきたいという思いがあります。基本的には人と人の間は、最低1メートル以上、できれば2メートル空けなさいと言われてるので、基本的に1メートルくらい空けられたらいいかなと考えています。

委員 不織布マスクを着けるのが基本だということは分かっています。顔を全部覆うフェイスシールドではだめなんですか。

委員 フェイスシールドは例えばどなたかに着けていただき、使い終わった後に次の方が使うとなると、拭き取らないといけませんよね。それを見ている方にとっては、綺麗にされても実際に使うことを考えると、イメージ的に難しいかと思います。つまり、消耗品として、その人だけに使ってもらえるようなかなりの数を用意しないとダメなかと考えると難しいと感じます。

委員 今年はおしゃべり会はせずに、2③案で進めるのがいいのではないかと思います。スタンプラリーは、来年か再来年、お手話ベリコーナーも含めてするというので。

議長 改めて皆さんに確認をしたいのですが、ろう者の意見としては、口の動きや表情などを見たい、不織布マスクを着けたままのお手話ベリコーナーというのは、ちょっと難しいかなと思っておりますので、お手話ベリコーナーはなしで、2③案で進めたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(全員同意)

では2③案ということで進めたいと思います。よろしくお願いします。

■令和4年度 手話施策推進事業予算 参考資料について

議長 令和4年度に向けて、手話普及啓発物品等で、何かご意見ありますでしょうか。

委員 今年度の2回目の会議で私が提案した意見があります。まちかどミニお手話ベリ会のポスターは大体どれくらいの部数を印刷される予定ですか。昨年度は余ったと思います。

事務局 今年度の印刷は終わっております、ポスターは昨年度と同じく 200 枚印刷しております。昨年度は、今年度よりもイベントの縮小という形で、ポスターを配布するところを減らしましたので、その分会場で多く使うようにしたことで、余っているように見えたかと思いますが、今年度は配布するところを元に戻しておりますので、昨年よりかは余るようなことはないと思いますので、そのあたりご理解をお願いします。

議長 令和 3 年度の啓発物品は下敷きでした。令和 4 年度に関しては、どんな啓発物品を作ればよろしいでしょうか。

議長 ろう者の皆さんは、コンビニやホテル、お店などへ行かれて、通じないことがたくさんありますよね。例えば、○・×ですか、必要か必要でないか、温めるか温めないかといったようなものを作っていただいて、コンビニやホテル等で置いていただく。そして、見て分かるように提示していただくというものがあればいいかなと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員 なるほどと思いました。見たことがあります。ホームページであるのかもしれないですね、確認します。

議長 作っていただくお考えはありますでしょうか。

事務局 いわゆるコミュニケーションボードと言われる、イラストが描かれたコミュニケーションを取るためのツールだと思うんですが、今回のこの事業につきましては手話普及の事業でありますので、手話を普及することに繋がるのかどうかというところを、もう少し会議の中で検討していただき、手話普及啓発物品であるということでしたら、予算の範囲内で検討したいと思えます。

議長 手話普及啓発に繋がると思います。2つの考えがあります。コミュニケーションボードが必要なのは、障がい者のコミュニケーションの目的ですね。手話が何か、ろう者とは何かということを考えていただく良い機会になるというのが1つ。もう1つは、来年12月に県で初めてのマラソン大会がありますよね。全国から多くのマラソンランナーを迎えての大会ですが、ホテルなどにも聞こえない方々が泊まられると思います。その時にコミュニケーションボードを活用できると思うのですが、いかがでしょうか。
また、手話言語条例の中に企業の手話研修がありますね。現在はコロナで、企業からの依頼はないですが、もしまた研修が始まれば、コミュニケーションボ

ードを使って会話の練習や説明ができると思っております。「ありがとう」とか、「また来てくださいね」とか、そういった手話をボードと実際の動きをつなげて教えることができると思います。他に何かお考えはありますでしょうか。

委員 すみません、今ちょっと思い付かないですが、先ほどのコミュニケーションボードは、確かに勉強したりコミュニケーションを取るのには有効な物かなと思うので、あればいいとは思いますが、他には今思いつかないので考えます。

委員 今年の下敷きの手話のイラストがまた変わるかと思っておりますので、イラストを変えて同じ下敷きを作ってはどうかと思っております。例えば「お金がいくら」とか、今度は街で使えるような手話を載せるのもいいのではないのでしょうか。

委員 先ほど議長が言われたように、コミュニケーションボードはとてもいい意見だと思います。それをもらう企業さんや、それを目にした人たちに、手話やろう者の方とのコミュニケーションの大切さを分かってもらえると思う。それと、予算の範囲内でいろいろな方法で、ニーズに合ったものを作っていただければいいのかなと思います。

委員 私も今あまり思い浮かびませんが、先ほどのコミュニケーションボードですが、ホテル等に需要があるのか、置いて使うことができるのか、一度調べてみてもいいのかなと思います。また作る時には、ボードの端に条例のマークのシールを貼っておいたら、条例のことも知ってもらえると思います。

委員 いろいろなご意見をいただきましたので、他市がどんなことをやっているかも研究させていただいて、いいところを取り入れながらやっていけたらと思います。

議長 よろしくお願いたします。

4. その他について

■広報まつさか「ミニ手話コーナー」(令和4年1月号～12月号)について

事務局 広報まつさかに掲載している「ミニ手話コーナー」についてですが、令和3年の1月号～12月号は委員の皆様には動画のモデルを協力していただきました。令和4年については、深川副会長と協議しました結果、年度途中で委員さんの任期が満了することもありますので、モデルは障がい福祉課の職員でまわして

いこうと思います。また、令和4年からは単語に加えて、単語を使った例文も一緒にホームページの動画で紹介していく予定です。

委員 例えば、どのような例文を予定されていますか。

事務局 例えばですが、単語が「さようなら」の場合、例文は「さようなら。また会いましょう。」、単語が「はじめまして」の場合、例文は「はじめまして。よろしくをお願いします。」といった感じで、動画を作る予定です。

議長 令和4年度の啓発物品について、どんなものがあるのかを調べて、予算の範囲内で購入したいですね。先ほどのコミュニケーションボード。また、イラストを変えて下敷きを作る。広報に載せているイラストを石川委員にせっかく書いていただきましたので、この絵は残していきたいなと思います。今回の下敷きは、石川委員のイラストとは違うものでしたので、来年度は石川委員のイラストを使ったらどうかなと思います。

委員 それがいいと思います。

議長 他のところでこういった啓発物品があるよとか、参考になるようなものがありましたら、事務局へ提案していただきますようお願いします。他に何かありますか。なければこれで会議を終了させていただきます。進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございます。次回の推進会議の日程ですが、本日の推進会議でイベントの詳細を決めていただきましたので、次回の推進会議はイベント終了後の年明け以降で、改めて事務局より連絡させていただきます。イベントの集合場所等の資料は郵送で送付いたします。当日11月20日土曜日ですが、よろしくお願いいたします。

議長 11月20日ですが、皆さんご協力よろしくお願いいたします。

委員 すみません、当日私は欠席ですが、私にも集合場所等の資料は送っていただけるのでしょうか。

事務局 皆さんと同じように送らせていただきます。

委員 イベント終了後の来年に推進会議が開催されるということでしたが、イベントでアンケートをされるので、アンケートをもとに来年度のことについて話し合いを進めたいと思います。啓発物品についてもどうだったかということを知りたいので、そういった項目を作っていただけるとありがたいです。

議長 イベントに参加される方にお渡しする物品は、下敷き以外に何かあるんでしょうか。

事務局 今年新しく作る手話条例のパンフレットをクリアファイルに挟んだものと、エコバッグや、缶バッジ、メモ帳やペン類を加える予定です。

議長 わかりました。ありがとうございます。それと、今度小学校と幼稚園から、講演の依頼があり受けました。その時にこの下敷きを配ることはできますか。

事務局 可能ですが、だいたいいくつくらいでしょうか。

議長 前もって数等をご報告させていただきます。他に何かありますか。なければこれで会議を終了させていただきます。ありがとうございました。